

動作する人体をアーカイヴする方法を開発 ～ VRコンテンツの制作に活用～

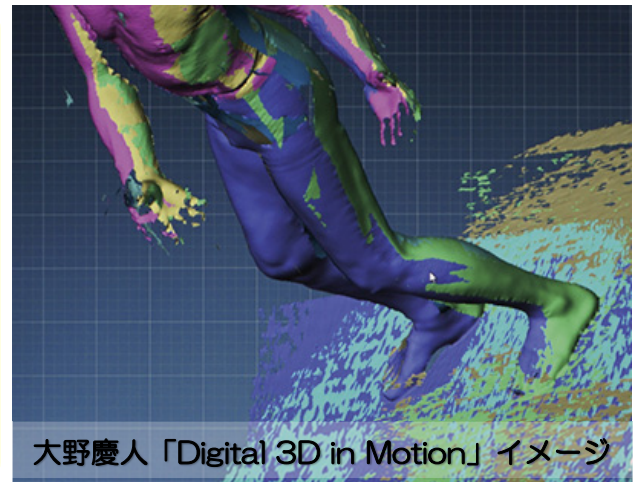
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター(以下、都産技研)と株式会社ケイズデザインラボは、共同研究により「デジタルアーカイヴのための人体の形状データと動作データおよび生理データを統合する技術」を開発しました。本技術を活用して制作したVRコンテンツを12月15日から開催の「たしかな心と眼」(寺田倉庫)で公開します。

ダンスアーカイヴプロジェクトとして、さまざまな実験的表現を通して、現代の舞踊文化を次世代に継承する取り組みが行われています。「たしかな心と眼」では、ダンサーの3D形状データと身体運動データを統合した「動きのデジタルアーカイヴ」として、ヘッドマウントディスプレイで見るVRコンテンツ「大野慶人『Digital 3D in Motion』」を公開します。このVRコンテンツの制作には、都産技研と株式会社ケイズデザインラボが共同で開発した技術(特許出願中)が利用されています。

※ VR: ヴァーチャル・リアリティ

Dance Archive Project in Tokyo 2017
 ウィリアム・クライン×大野慶人×アノーニ
 「たしかな心と眼」

会 期: 平成29年12月15日(金)～12月23日(土)
 時 間: 平日 13:00～21:00 / 土日 11:00～21:00
 ※12月15日(金) 15:00 からオープン
 会 場: 寺田倉庫G1ビル・5階 (東京都品川区東品川2-6-10)
 入場料: 12月15日(金)～12月16日(土) 展示、公演入場無料
 12月17日(日)～12月23日(土) 展示観覧のみ 1,500円
 ※展示と公演観覧は別途料金設定あり
 主 催: NPO法人ダンスアーカイヴ構想



大野慶人「Digital 3D in Motion」イメージ

開発技術のポイント

近年、人体の全身のような比較的大きな対象の表面形状をサブミリ精度で3Dデータ化できる形状計測装置が登場しました。しかし形状計測された3Dデータをモーションキャプチャなどで計測した動作データに対応させて動かすことはできませんでした。本開発技術を利用することで、形状データのもつ寸法精度を損なうことなく、同一の人間から取得した形状データと動作データを統合することができるようになりました。統合したデータをVR空間に配置することで、人間の形状と動作をさまざまな角度から観察できるようになり、ダンスやスポーツ、教育用コンテンツ分野等での利活用が期待できます。

【開発技術・出願中特許に関するお問い合わせ】

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
 生活技術開発セクター・墨田支所 山口美佐子 TEL 03-3624-3731 FAX 03-3624-3733
 経営企画部広報室 木村 千明 TEL 03-5530-2521 FAX 03-5530-2536

【コンテンツ制作に関するお問い合わせ】

株式会社ケイズデザインラボ 内田 麻子 TEL 03-6433-5013

<http://www.iri-tokyo.jp/>